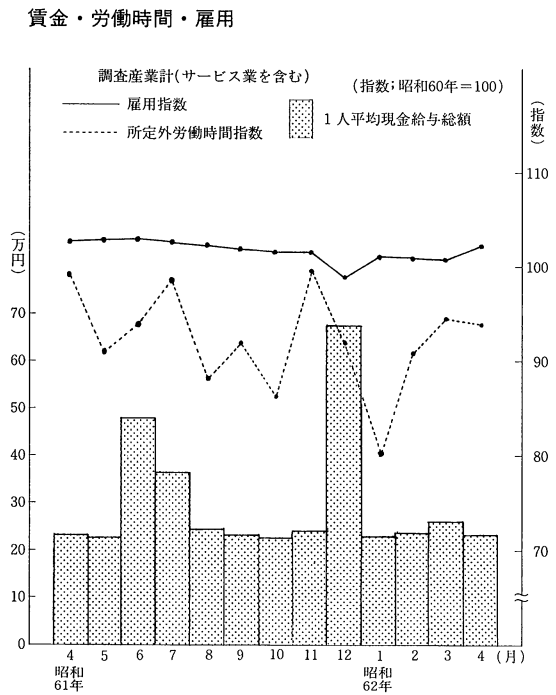
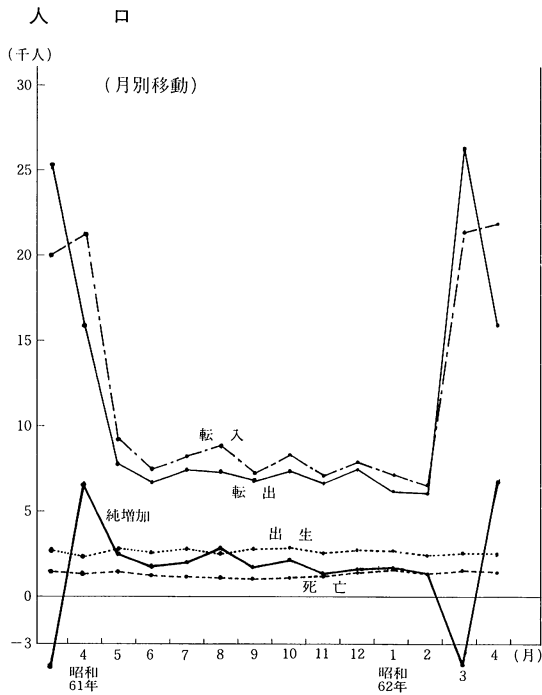
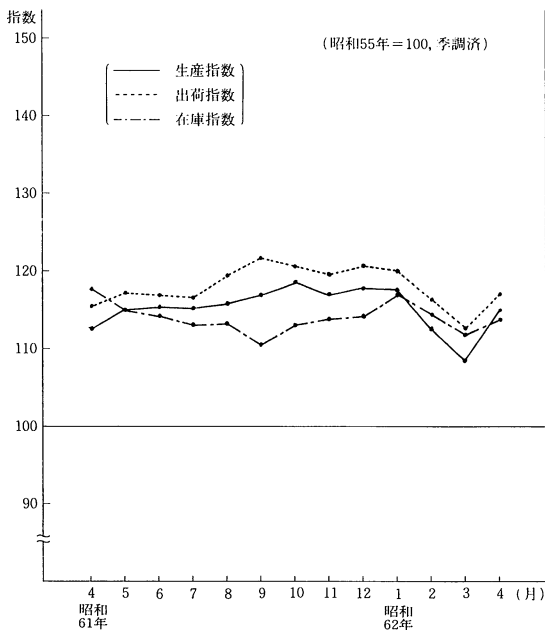


● 今月の主な動き

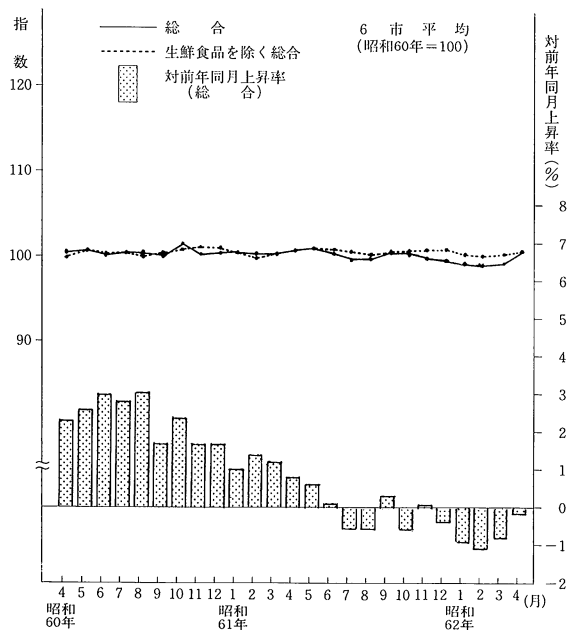
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (5月1日)

本県の人口は、4月中に6,787人増加し、5月1日現在で2,758,136人(男1,374,858人、女1,383,278人)となった。
 内訳は、自然動態で1,110人(出生2,566人、死亡1,456人)増加し、社会動態で5,677人(転入21,696人、転出16,019人)増加した。昨年5月1日現在と比較すると、23,058人

(0.84%)の増加である。
 市町村別では、増加12市45町村、減少7市26町村、増減なしが2町村である。
 世帯数についても、6,547世帯増加して777,689世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (4月)

1. 平均賃金の推移

4月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は237,904円で前月に比べ7.2%減(前年同月比0.5%増)であった。
 このうちきまって支給する給与は236,290円で前月に比べ1.6%増(前年同月比1.9%増)であり、特別に支払われた給与は1,614円で前年同月に比べ3,086円減であった。

このうち所定内労働時間数は164.5時間で、前月に比べ4.8%増(前年同月比0.7%増)であり、所定外労働時間数は17.1時間で、前月に比べ0.5%減(前年同月比5.5%減)であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は181.6時間で、前月に比べ4.3%増(前年同月比0.1%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると102.5で、増減率は前月に比べ1.7%増、前年同月に比べ0.3%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (4月)

本県における昭和62年4月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が115.5、出荷が117.6、在庫が114.1で、前月比は、生産が6.3%の上昇、出荷が4.5%の上昇、在庫が2.1%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が2.5%の上昇、出荷が1.7%の上昇、在庫が2.9%の低下であった。

が上昇し、金属製品工業、電気機械工業、鉄鋼業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が上昇し、鉱業、繊維工業、化学工業等が低下した。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、精密機械工業、一般機械工業、鉱業等が上昇し、電気機械工業、繊維工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、鉱業、精密機械工業、窯業・土石製品工業、一般機械工業等

特殊分類別にみると、生産では、資本財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財が低下した。出荷では、資本財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、建設財が低下した。

■ 消費者物価指数 (4月)

昭和62年4月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.8(昭和60年=100)となり、前月比1.2%の上昇、前年同月比△0.1%の下落となった。

昇、前年同月と変わらなかった。

- 今月上がった主な項目……野菜・海藻14.0%、補習教育11.1%、他の光熱6.9%、授業料等3.8%、自動車等関係費1.6%、生地・他の被服1.5%
 今月下がった主な項目……果物△3.5%、乳卵類△1.4%、飲料△0.8%、調理食品△0.2%
 生鮮食品を除く総合は100.9となり、前月比0.8%の上

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.8	1.2	△0.1	保健医療	103.0	0.0	1.2
食料	100.0	1.3	△0.7	交通通信	101.3	0.9	1.4
住居	104.2	0.7	1.7	教育	110.0	5.1	5.3
光熱・水道	89.9	0.4	△10.2	教養娯楽	101.8	0.8	0.7
家具・家事用品	99.6	0.3	△0.7	諸雑費	103.0	0.1	3.2
被服及び履物	102.0	1.8	0.9	生鮮食品を除く総合	100.9	0.8	0.0